

魚津市自治振興会連合会総会 会議録

日 時 令和2年5月13日(水) 18時00分～19時20分

場 所 市役所第1委員会室

出席者 自治振興会連合会 米澤賢太郎会長、大崎勇副会長、伊藤甚宰副会長、
馬場均会計監事、大野聡一、亀沢俊幸、松原勇、河口利春、
富川茂樹、水口富代明、野村博、伊田正一、関口斎、
佐々木和允(代理:潮由加子)

事務局 村椿市長、富居部長、小林課長、石浦係長、池川係長、
上田主任、谷口主任、関口

1 あいさつ

米澤会長あいさつ

村椿市長あいさつ

会員交代あいさつ 天神地域振興会 新会長伊田さん、前会長関口さん

事務局あいさつ

2 各課からの依頼事項について

1) 健康づくりウォーキングについて

昨年度健康づくりウォーキングマップ2を作成し、各公民館に配布した。

今後の健康づくりイベントに活用してもらいたい。

また、今年度全地区に依頼しているウォーキング事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント開催時期について3月末まで可能とした。内容についても、新規イベントの開催が難しいようであれば、今年度に限り地区運動会へ地区住民が徒歩で参加することもウォーキング事業として可能とした。

詳細については、健康センターに問い合わせてもらいたい。

3 議事

議案第1号 令和元年度事業報告について

議案第2号 令和元年度決算報告について

馬場監事からその内容が適正かつ正確であることの報告がなされた。これについて議長が意見を求めたところ満場異議なく可決した。

議案第3号 役員等の承認について

昨年度、谷林会計監事のご逝去により不在となっていた会計監事に村木地区振興協議会会長亀沢俊幸さんの承認について諮ったところ、満場一致をもって承認可決した。

新役員 亀沢会計監事あいさつ

議案第4号 令和2年度事業計画(案)について

議案第5号 令和2年度予算(案)について

議長が意見を求めたところ満場異議なく可決した。

また、あて職の委員について、役員改選や任期満了による委員改選は、引き続き同じ委員を行うこととすることで満場一致で了解した。

4 その他

① 25歳の成人式実行委員の推薦について（池川係長から説明）

・何をしたいのか意図がよくわからない。また、地区から1名だけだと仕事の関係で欠席することもあると思われるが、そのあたりを検討してもらえないか。

⇒内部で検討し、結果を連絡する。

・25歳前後でも可能ということではなかったか。25歳限定なのか。

⇒ぶれないように年齢を25歳としたい。希望する地区があれば、地区内の該当者名簿を配布する。

② 広報の配布について（関口から説明）

・加積地区はアパートがたくさんあり、どのように配布しているか地域振興会として把握していない。自治会等の長に任せている状況である。そのような状況であることを理解してもらいたい。

・私が以前に提案をしたのは自治活動そのものの単位はどうなっているのかということ、今説明がなかったことを聞いたつもりである。雇用促進住宅が民間のアパートとなったものを自治体の単位として扱うのかどうかといったことである。地域活動に対して理解してもらえない、誘っても参加してもらえないような区をどうすればよいのか。川の瀬3区のような世帯数がたくさんあっても自治会等の長が1人のままで新しい町内会ではなかなか認めないが、古いところはそのままといったような状況はどうか質問したつもりである。これからの自治単位での考え方を聞いたつもりである。

⇒今日の社会状況に見合ったこれからの自治体の活動について、整理して進めたい。

③ 公民館のコミュニティセンター化について（関口から説明）

・令和3年度から職員は地域雇用となるのか。

⇒令和3年度から指定管理者制度に移行する大町、片貝、経田地区以外の地区においても、今年度から会計年度任用職員となり一定の基準ができていることから、同じ条件で地域雇用をお願いしたいと思っている。

・職員の地域雇用、コミュニティセンター化、指定管理者制度とは別のものとして考えてよいのか。地域雇用は了解が得られた地区からなのか。

⇒全地区が地域雇用になるようにお願いしたい。

・地域雇用になると雇用主は誰になるのか、雇用責任はどうなるのか教えてもらいたい。

⇒念のため申し上げるが、行革年度を設定しているのは目標を掲げなければならないの

で記載している。その時までには絶対というものではない。

- ・コミュニティセンター化しても公民館長は残るのか。

⇒今のところ片貝地区はコミュニティセンター化したが、公民館機能は残っている。全地区でコミュニティセンター化し、公民館機能は不要となった段階で公民館条例をどうしていくか検討したい。

・昨年度も話をしたが、了解の得られた地区からと言われると、地区としてやりにくい。市の方針としていつからはコミュニティセンター化するというを示してもらいたい。

・生涯学習活動として運営していくときにどういった役職の人が必要かといった、公民館長に代わる役職の検討が必要である。振興会会長一人ではできないことなので、どうしていくか検討する必要がある。

⇒昨年度の流れがあるので、了解の得られた地区からと思っているが、しっかりとした目標年度を設定してというのであれば、そのようにして検討していきたい。

- ・センター長とは、具体的にどうなるのか。

⇒具体的にどういったものになるのか、先ほど関口前会長が言われたことも踏まえて、今後検討していきたい。

- ・自分は今、センター長をしている。

・片貝もコミュニティセンターとなったので、センター長、公民館長の2人いると難しいため、公民館長はセンター長も兼ねることとした。

⇒先ほど関口前会長も言われたが、公民館機能部分についてどういった表記がよいのか整理して進めていきたい。

・先ほど説明があったところで、9月議会で債務負担行為の設定とあるが、その時までには具体的にどのくらいの経費が必要かを市と協議していかなければならない。債務負担を設定すると、指定管理の期間はその範囲内で経理をおこなっていかなければならないので、しっかり勉強しながら指定管理に向けて進めていってもらいたい。職員の地域雇用についても、雇用に関わることについて勉強していかなければならない。

⇒年度当初からスタートするとしたらこのような考え方になるが、新型コロナの影響もあり収入が見込めないのであれば、年度当初でなくてもよいと思っている。

・説明されたことが色々変わっていく。時間をかけてしっかり信頼を得られるような説明をしてもらいたい。

⇒昨年度は限られた時間の中での説明となったため、変更等があったが、今年度は時間をかけて説明していくようにしたい。

5 閉会